

福島西ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

2026-27年度 会長：寺島英樹

幹事：穴戸順一

例会場：エフズサンパレス

第10回例会

米山記念奨学生スピーチ

- 開会点鐘
- 国歌斉唱・ロータリーソング「我らの生業」
ソングリーダー 佐藤慶行会員
- ロータリーの目的唱和
職業奉仕小委員会 朝倉久仁男小委員長
- お客様 米山記念奨学生 ジンコラットさん
- 10月分米山記念奨学金給付
米山記念奨学生 ジンコラットさん
- 10月誕生日
・朝倉久仁男会員 昭和38年10月1日
・高梨哲男会員 昭和24年10月30日
・新開文雄会員 昭和26年10月16日
- 副会長挨拶 佐藤宗弘副会長
- お食事
- 幹事報告
- 委員会報告
プログラム・出席・スマイリングボックス小委員会報告 久米允彦会員
ロータリー財団委員会よりお願い 高橋智弘委員長
米山記念奨学会小委員会よりお願い 黒澤信之小委員長
「ロータリーの友10月号」の紹介
公共イメージ委員会 行形裕司委員長
- 本日のプログラム
「米山月間にちなんで」
米山記念奨学生 ジンコラットさん
- 閉会点鐘



ソングリーダー
佐藤慶行会員



職業奉仕小委員長
朝倉久仁男会員



10月分奨学金支給
ジンコラットさん



10月誕生日
朝倉久仁男会員
高梨哲男会員
新開文雄会員

● 副会長挨拶 佐藤宗弘副会長



皆さん、こんにちは。

本日は米山記念奨学生ジン コラットさんにお越しいただき、誠にありがとうございます。心より歓迎申し上げます。また、10月誕生日の皆さま、おめでとうございます。益々ご健勝にて素晴らしい1年になりますようご祈念申し上げます。早いもので今年も残すところあと3か月となりましたがロータリー年度は未だ第一四半期を終えたところです。今日まで会長代行を務めさせていただきましたが如何だったでしょうか？例会や理事会そして分区の会長幹事会に備えて、穴戸幹事や事務局としっかり打ち合わせをさせていただき、例会運営に際してはSAA・副SAAはじめ、会員の皆さまそして事務局小澤さんのご協力により、今日を迎えておりますことこの場をお借りして感謝申し上げます。

さて、10月は国際ロータリーの強調月間の一つである「地域社会の経済発展月間」と並行して、日本独自のテーマ「米山月間」として活動が推進されます。これは、公益財団法人

ロータリー米山記念奨学会の事業を支援するための月間となっております。9月の「ロータリーの友月間」と10月の「米山月間」が国際ロータリーのテーマとは別に唯一、日本独自で定められた特別月間です。

これらは日本のロータリーの歴史や文化に根差した重要な活動であり、会員が共通の目的に向かって活動するための重要な指針です。後ほどの行形公共イメージ委員長による友の紹介や黒澤信之米山記念奨学会小委員長報告の中で「米山月間」への理解を深めることで、クラブにおけるロータリー活動はより充実したものになることと思っております。

最後にお願ひですが、本日会場入りしてお気づきになられたと思いますが、10月24日の世界ポリオデーに因んで今月の毎例会時にポリオプラスの募金活動を実施いたします。既にお一人30ドルの寄付は頂戴しておりますが感染国の子どもたちを救うために更なるご協力を宜しくお願いいたします。そして、日本独自の国際貢献である米山記念奨学会へのご協力も併せて宜しくお願いいたします。

本日は、米山月間に因んで米山記念奨学生ジン コラットさんにスピーチをいただきます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

米山記念奨学生スピーチ ジンコラットさん



ミャンマーと日本

ミャンマーのよさと日本への道

バガン、食べ物、今の生活、日本で学ぶ夢を紹介します。

バガンの歴史
バガンは、朝の光で始まる

バガンには、古いパゴダがたくさんあります。朝日と気球の景色は、ミャンマーの大切な思い出です。

場所 バガン遺跡（世界遺産）
歴史 11世紀～13世紀のお寺

バガンの文化

02

人と文化
人の笑顔と、やさしい心

おもてなし

仏教を大切にする心
毎日の生活の中で折り、人を助けます。

家族と町のつながり
家族も近所の人、家族のように助け合います。

やさしいおもてなし
初めて会う人にも、笑顔でやさしくします。

国民食 ①
国民食① モヒンガー

魚のスープに米のめんを入れた料理です。朝ごはんによく食べます。体が温まります。

国民食 ②
国民食② ラベットウ

茶葉、豆、にんにく、野菜を混ぜたサラダです。少し苦くて、いい味です。

05

今の生活
今のミャンマーは、大変です

今のようす

場所によるちがいと安全
場所によって、ようすが大きくちがいます。争いや安全の心配がある場所もあります。

旅行への注意
多くの国の政府は、たくさんの方の場所へ行かないように言っています。

生活への影響
仕事や物の値段だけでなく、学校や移動も大変です。

※大変な中でも、人々は助け合って生活しています。

今の生活
若者の毎日は、紛争と避難で変わった

長く続く紛争と経済の悪化で、安全や学び、生活の選択肢が少なくなっています。

1,620万人 490万人
人道支援が必要な人 そのうち子ども
2026年1～6月 2026年1～6月

約380万人

07

学びをつづける
学びたい気持ちは、消えない

紛争や地震で学校が壊れても、寺院学校や仮設教室で学びを続ける若い人たちがいます。

2,500以上

2025年3月の地震で壊れた学習施設

学ぶ場所は、前より不安定です。それでも、子どもたちは学び続けています。

写真：UNICEF Myanmar / 2025 / Minzayar Oo
サガイン州の仮設学習空間、7歳のThoon

08

日本へ行く道
日本へ行く道は、前よりむずかしい

1 2 3 4

書類を集める
パスポートや学校の書類を、一つずつ集めます。

資格とビザ
日本に住むための証明書を取り、大使館でビザを申請します。

勉強とお金
日本語を勉強し、面接を練習し、必要なお金を準備します。

大変なことをこえる
交通や今の状況の大変さをこえて、日本へ出発します。

※日本へ行くには時間と努力がいります。でも、あきらめませんでした。

強い気持ち
それでも、日本で学びたい

安全な場所で勉強し、働き、家族を助けたいです。日本語を使い、二つの国をつなぐ人になりたいです。



二つの国をつなぐ
ミャンマーと日本をつなぐもの

文化を知る
お互いの歴史や習慣を知ると、もっと仲よくなれます。

笑顔と食べ物
おいしい食べ物と笑顔があれば、言葉がらつても仲よくなれます。

助け合う力
見守り、助けてくださる方がいるから、夢に向かって進めます。

お互いを知る第一歩
心をつなぐもの
未来への希望

心からありがとう
福島西ロータリークラブの皆さまへ

奨学生として、心からありがとうございます。

皆さまが助けてくださったので、私は日本で勉強でき、未来への希望を持てました。

これからも毎日勉強します。そして、ミャンマーと日本をつなぐ人になります。

本当にありがとうございます。



米山月間にちなんで／世界ポリオデーにちなんで



米山記念奨学会委員会より
例会窓口での寄付のお願い



ロータリー財団委員会より
例会窓口での寄付のお願い



スマイルボックス 久米允彦 委員

- 佐藤宗弘副会長
ジンコラットさんのスピーチに寄せて
- 高橋智弘会員
財団寄付とポリオプラス寄付、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。
- 黒澤信之会員
本日はジン君のスピーチ、楽しみにしています。
- 行形裕司会員
よろしくお願いいたします。
- 八木澤直樹会員
ジンコラットさんスピーチ楽しみにしております。
- 久米允彦会員
佐藤慶行様、佐藤卓立様、2カ月余り代行をお勤めいただきまして、誠にありがとうございました。おかげ様で元気になりました。ジンコラットさん、スピーチ楽しみにしております。

朝倉久仁男会員／大平謹一郎会員／佐久間政文会員
佐藤慶行会員／佐藤卓立会員／高梨哲男会員
野尻榮一会員



ロータリーの友9月号紹介
行形裕司 公共イメージ委員長

【幹事報告】

- ・当クラブ次週12日の例会は、祝日のため休会となっておりますのでご注意ください
- ・19日の例会はガバナー公式訪問となっております。クラブ協議会からご参加の皆様におかれましては宜しくお願ひいたします
- ・本日、午後6時30分から鳳来にて理事会を開催いたしますので、役員・理事の皆さまにおかれましては宜しくお願ひいたします
- ・10月のロータリーレートは157円となりますのでお知らせいたします



10月号は「地域社会の経済発展月間」を軸に、子ども支援・教育・地域連携の最新事例を深く掘り下げています。地域の課題にクラブがどう寄り添い、持続可能な仕組みを作っているかが具体的に紹介され、卓話づくりにも役立つ内容です。さらに米山記念奨学会特集では、奨学生の声、支援の歴史、国際大会での活動報告がまとまり、クラブの寄付意義を再確認できる構成になっています。